

社会にとっての水となる

社会との共生

社会に潤いをもたらす「水」のような存在となるために、
お客様、お得意先、お取引先との関係を第一に考えながら、
より豊かな生活文化への貢献をめざして、さまざまな文化・社会貢献活動に取り組んでいます。

「利益三分主義」に基づく取り組みを継承・発展させることで、 サントリーらしい活動のあり方を追求してまいります



取締役
CSR・コミュニケーション本部
副本部長
品治 利典

企業としての成長は、単に事業が成功を収めることのみならず、お客様や社会から信頼され、価値を認めていただくことで初めて成り立つと認識しています。

創業以来サントリーに培われてきた、利益は事業資金とするだけでなく、お客様やお得意先に還元し、さらには社会のために役立てていくとする「利益三分主義」の精神は、企業市民として社会との共生を果たしていこうとする経営姿勢にほかなりません。この精神と多様な経営資産を継承・発展させ、お客様、お得意先、お取引先をはじめとするすべてのステークホルダーと響きあいながら、経営品質を高めていくことが必要だと考えています。

社会を潤す「水」のような価値ある“Good Company”となることをめざして、今の時代にふさわしいサントリーの社会貢献のあり方を追求してまいります。

Activity 1 (P.47 ~ 48 参照)

豊かな生活文化の創造に貢献していきます

サントリーは、人々に心の潤いを提供したいという思いから、1961年の「サントリー美術館」開館に始まる文化支援に力を注いでいます。

現在では音楽ホールやミュージアムなどの文化施設運営から音楽・学術支援、スポーツ支援など多彩な活動を展開。また、これらの資産を活かして、次代を担う子どもたちに向けた次世代育成支援活動にも積極的に取り組んでいます。サントリーならではの社会との共生のあり方の一つとして、より豊かな生活文化への貢献を果たしていくために、これからも活動を強化していきます。



サントリー美術館



サントリーミュージアム [天保山] での
キッズ・ワークショップ

Activity 2 (P.43 参照)

お客様の声を企業活動に活かします

サントリーは、水や農作物といった自然の恵みを多彩なかたちでお客様にお届けし、ご満足いただくことで初めて存続できるグループです。

お客様により良い商品・サービスを提供するためには、お客様からの声に積極的に耳を傾け、そのご要望・ご期待に的確にお応えしていくことが大切だと考えています。創業以来の「お客様第一」の姿勢をこれからも貫き、さらに発展させるべく、お客様との双方向コミュニケーション体制の充実を図るとともに、すべての社員がお客様の視点から行動する企業風土の醸成を強化していきます。



お客様センター

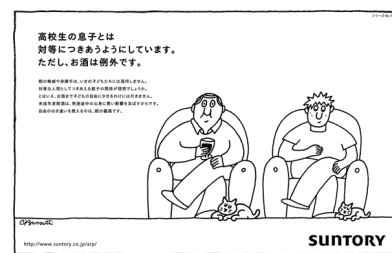
Activity 3 (P.44 参照)

酒類を扱う企業として

適正飲酒の啓発に努めます

お酒は古くから「百薬の長」といわれる一方で、不適切な飲み方によってさまざまな問題を引き起こす可能性があることも事実です。

酒類を扱う企業の責任として、多発する飲酒運転や未成年飲酒などの問題飲酒を撲滅するために、サントリーはお客様や関係業界、研究機関との連携を図りながら、アルコール関連問題の予防と適正飲酒の啓発活動に積極的に取り組んでいます。



モデレーション広告



「STOP! 未成年者飲酒キャンペーン」